

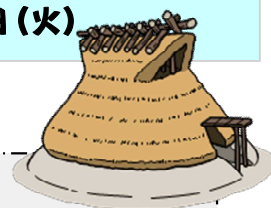


掛川市立佐東小学校 出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年7月4日(火)



「クイズなども交えて説明してくださり、
子どもたちも興味をもって聞けました。」

掛川市立佐東小学校の6年生21人が、「縄文時代の生活を体験しよう」で、縄文時代や弥生時代の人々の暮らしを、体験を通して学ぶことを目的に、土器の分類、石器の試し切り、火起こしの3つの体験を行いました。

土器の分類体験



土器分類の前に、佐東小学校周辺の遺跡について簡単に話しました。土器分類

では、実際に発掘された土器片と完形土器を触りながら、断面や色、文様、厚さなどをもとにして分けました。大昔の人が実際に使っていた土器を触ることで、関心が高まりより学びに力が入りました。

「本物の土器をさわって、その手触りなど頼りに、分類するのが楽しかった。」



石器の試し切り体験



実際に発掘された打製石器や磨製石器を見ることで、石が日常生活をする上で大切な道具だったことを学び、黒曜石の切れ味を試しました。思っていた以上に紙や野菜が切れて驚いていました。硬いニンジンなどもおもしろいように切れて、昔の人が石を使っていたことを実感していました。

「すごい切れ味でびっくり。自分たちでもつくれるのかな？」

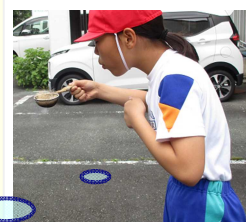


火起こし体験



火起こしの歴史について簡単に話した後、舞きり法での火起こしの順序を説明しました。舞きり法の仕組みや方法がわかったところで、班に分かれて取りかかりました。初めは、弾み車を上手に回せなくて苦労しましたが、コツをつかむと調子よく回すことができ、火種を作ることができました。火種を火口の上に置き、ロングフーフーです。これが意外に難しい。苦労の末、火を起こすことができました。

「1度やってみたいと思っていたから、できてうれしい。ロングフーフーが大変！」



先生方の感想

「縄文～古墳時代の実物を見たり、体験したりして、理解が深まったと思いました。とても分かりやすい説明でした。自分たちの住んでいる地域のことにも触れていただき、さらに身近になったと思います。クイズなども交えて説明してくださり、子どもたちも興味をもって聞けました。本当に楽しい時間となりました。6年生を担当したら、また行いたいです。ありがとうございました。」

